

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和2年 12月25日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 12月号
TEL (351) 2314
FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>



目に見えない、様々な思いに支えられ

校長 藤田 陽子

12月7日、5年生が稲わらを使ったリース作りに取り組みました。この稲わらは、5年生が収穫した藤塚米のわらです。本校では、毎年ボランティアの皆さんにご支援をいただき、児童が米づくりの体験をさせていただいています。「米が収穫できるまで」を実際に体験することで、実感を伴う学びが可能となる貴重な機会です。

ボランティアの皆さんは、代掻きや田植え・収穫・脱穀など、米を育てる過程を児童が体験するために、1年を通じ、その準備や田の管理、後片付けなどを行ってくださっています。このようなご支援の中で、児童は「お米はこうしてできるんだ!」「自分たちが育てた藤塚米!」「わらまでリースとして活用できる!」などの実感をもつことができました。そして、何回もの活動を重ねるにつれ、次第にボランティアの皆さんが自分たちの活動のために、準備や支援をしてくださっていることに気づく姿も見られるようになってきました。

5年生は、藤塚米をご家族と一緒に味わい、リースをクリスマスやお正月の飾りとして大切に飾ることと思います。そのおいしさや喜びを味わいながら、米やリースに込められた、多くの方々の、子どもたちへのあたたかい思いと応援を感じとることを願っています。

また、12月8日には、花ボラの皆さんが学校の正門から昇降口まで続く花壇やプランターに、冬の花を植えてくださいました。毎年、児童と共に花植えツアーを企画していただきますが、今年は、授業中にボランティアの方々だけで全ての植え替えをしてくださりました。児童の登下校を明るく見守る、色鮮やかな花の道が新たに生まれました。



今回、米作りや花植えにかかわるボランティアの方々のご支援についてご紹介しましたが、本校の活動は日々、本当に多くの応援に支えられています。毎朝、児童の安全な登校を見守り、声かけをしてくださる朝ボランティアの皆さんの姿、図書館の本を何回も修理したり、毎回試行錯誤しながら読み聞かせの準備を重ねたりしてくださる図書ボランティアの方々の姿、様々な学習支援を実現してくださる地域コーディネーターの方々の姿、年間何回も児童の学校生活のために話し合いを重ね、活動をしてくださるPTA役員、そしてPTAボランティアの皆さんの活動などです。

今年度は、ボランティアの方々と児童の交流が制限される中、児童の目には見えないところで多くの方の思いやご協力をいただき、子どもたちの豊かな学びを支えていただきました。このようなあたたかい応援を受け、児童が生き生きと学習し、活動することができましたこと、心よりお礼を申し上げます。藤塚小を支える皆様の思いや応援を児童が感じとり活動のエネルギーとしていく、そんな学習活動をつくりあげていけるよう新しい年も教職員一同、取り組んでまいります。来年も、どうぞよろしく願いいたします。